

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 1月 28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0194600011		
法人名	医療法人社団 博愛会		
事業所名	グループホームかたらい		
所在地	帯広市西23条南2丁目16-36 (電話) 0155-38-7770		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年12月7日	評価確定日	平成20年1月28日

【情報提供票より】(19年11月21日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年 6月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 14人, 非常勤 0人, 常勤換算 14人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1~2	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,500 円	その他の経費(月額)	19,500~25,500 円
敷 金	(有)(98,000円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 無 ) ( 円 )	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 250 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要(11月21日現在)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	5	要介護2	2
要介護3	4	要介護4	6
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 85 歳	最低 72 歳	最高 97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	開西病院・大江病院・高山泌尿器科・高木皮膚科診療所・ますち歯科診療室
---------	------------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は帯広市の中心部から近く、運営母体である同法人の病院に隣接した、閑静な場所に立地している。母体の医療法人と連携を取りながら日々のケアサービスを実践しており、利用者本人・家族の安心につながっている。事業所内の設備は新しく機能的であり、利用者に配慮した造りとなっている。職員間の意思疎通も図られており、今後も利用者が地域で安心して暮らしていくことが期待できる事業所である。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での課題であった「地域とのつながり」の項目については、町内会へ加入を打診するなど、積極的に改善に取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で項目ごとに話し合い、管理者がまとめている。また、自己評価を日々のケアサービスを振り返る機会と捉え、質の向上に努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、事業所の状況や行事等について報告している。また、会議で意見交換を行い、そこで出た意見を他の職員にも伝達して情報の共有を図っている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>毎月送付している事業所便りや電話にて利用者の暮らしぶりや健康状態等について家族に伝えている。また、家族の来訪時に職員は声かけをし、家族が気軽に意見・要望等を伝えられるような雰囲気づくりに努めている。また、6月に家族会を設立するなど、一層家族とコミュニケーションを取る機会を設けている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会加入について地域に打診中である。また、事業所主催の秋祭りを開催するなど、地域との交流が深められるよう努めている。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時に管理者と計画作成担当者が作成した事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の名札裏面には理念を記載しており、申し送り時や会議の際に理念を確認している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	現在、町内会加入について地域に打診をしている。また、近隣の学校の行事を見学したり秋祭りを開催するなど、地域との交流に努めている。	○	今後、運営推進会議の構成員である地域住民を通じてさらに地域との交流を深める働きかけが期待される。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は自己評価を日々のケアサービスを振り返る機会ととらえており、全職員で話し合いながら取り組み、改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議には利用者も参加して活発な意見交換を行い、そこで出た意見を事業所の運営に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者と相談等で連絡を取り、日頃から連携を図っている。また、地域包括支援センター職員は運営推進会議や事業所の行事に参加しており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月便りを家族に送付し、利用者の暮らしぶりや健康状態等を報告している。また、受診後はそのつど電話で連絡し、金銭出納帳は来訪時に家族に提示して確認後のサインをもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所内に意見箱を設置するとともに、日頃から家族とのコミュニケーションを大切に、家族が気軽に意見等を話せる雰囲気づくりに努めている。また、家族会を開催するとともに家族対象のサービスについての調査を行い結果を運営推進会議で報告するなど、家族の意見・要望等を反映させるよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動があった場合は前任者と後任者が重複して勤務するよう配慮し、利用者へのダメージを防ぐよう努めている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員は実践者講習などの外部研修に積極的に参加し、サービスの質の向上に努めている。また、研修受講後は会議で報告し、内容の共有を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>当事業所の管理者は管内グループホーム連絡協議会の役員であり、同業者と交流する機会が多い。また、情報交換会や他事業所との交換実習実施を検討中であり、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>職員は利用者に事前に見学することを勧め、納得してからの入居となるよう配慮している。また、職員が利用者宅を訪問して面談し、利用者と顔馴染みになるよう工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々の暮らしにおいて料理や裁縫など、職員は利用者から得意な事を教えてもらう場面が多く、支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時にセンター方式を用いてアセスメントを行い、利用者の情報を収集している。また、職員は利用者との会話や表情等からも一人ひとりの思いや意向の把握に努め、困難な場合は家族に相談して本人本位となるよう取り組んでいる。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人・家族の意見を取り入れ、全職員で話し合いながら介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度の見直しを行うとともに、利用者の状況変化に応じてそのつど話し合い、新たな介護計画を作成している。また、ミニカンファレンスやモニタリングも定期的に行い、現状に即した介護計画となるよう取り組んでいる。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>母体法人である医療機関や併設する老人保健施設と連携を取っており、医師や看護師による往診が24時間可能な体制が整っている。また、外出時の送迎や付き添いを行うなど、柔軟な支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者本人・家族が希望するかかりつけ医への受診支援を行っている。また、医師・看護師・担当医と日頃から連携を取っており、気軽に利用者の健康状態等について相談できる体制を築いている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化・終末期に向けての方針を定めており、家族に説明している。また、利用者の状態変化に応じてそのつど家族と情報を共有している。また、看取りの勉強会を実施している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者の誇りを損ねることのないような声かけや対応を心がけており、一人ひとりの状態に合わせたケアサービスを行っている。また、個人情報保護に関する規定があり、記録等の取り扱いも徹底している。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は利用者のペースを大切に、一人ひとりの生活リズムに合わせた支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者のできること・できないことを把握しており、一人ひとりの力量に応じて調理・盛り付け・後片付け等を一緒に行っている。また、利用者の希望を採り入れた献立を作成し、会話を楽しみながら利用者との職員と一緒に食事を摂っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調を考慮し、一人ひとりの希望に応じた入浴支援を行っている。また、利用者がゆったりと入浴できるよう配慮し、楽しむように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	アセスメントを行い利用者の情報を収集し、調理・洗濯物たたみ・畑作業など一人ひとりの力に応じた役割や楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員は生活歴を基に利用者の希望を把握し、散歩やドライブなど一人ひとりの思いに沿った外出支援を行うよう努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上の理由から夜間は施錠しているが、日中は鍵をかけておらず、利用者の自由な暮らしを実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回避難訓練を実施しており、誘導の流れや消火方法について学んでいる。また、日頃から消火設備についてもこまめに確認しており、緊急時に備えている。	○	今後、緊急時に地域住民から協力が得られるよう積極的に働きかけることが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を毎日記録しており、職員は把握しながら支援している。また、利用者の健康状態に応じて調理方法を工夫するなど、一人ひとりの状況に合わせた支援を行っている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は清潔感が保たれ、装飾品により生活感や季節感を感じられるよう配慮している。また、音・光にも配慮しており、利用者が居心地良く過ごせるような空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や思い出の品が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるよう工夫している。		

 は、重点項目。